



リリース ノート

NetApp Console local deployment

NetApp
August 10, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/console-local/whats-new.html> on August 10, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

リリース ノート	1
NetApp Console ローカル展開の最新情報	1
NetApp Console ローカル展開における既知の制限事項	1
コンソールVMの制限	1
NetApp Console ローカル展開と NetApp Console の比較	1
NetApp Console	2
NetApp Console ローカル展開	2
機能比較	3

リリース ノート

NetApp Console ローカル展開の最新情報

NetApp Console ローカル展開の最新リリースにおける新機能と強化点について説明します。

NetApp Console ローカル デプロイのご紹介

["NetApp Console ローカル展開について学ぶ"](#)。

NetApp Console ローカル展開における既知の制限事項

今回のリリースでサポートされていない、または今回のリリースでは正常に機能しないプラットフォーム、デバイス、機能が記載されています。これらの制限事項をよく確認してください。

これらの制限は、NetApp Consoleと管理のセットアップに固有のものです：エージェント、サービスとしてのソフトウェア（SaaS）プラットフォームなど。

コンソールVMの制限

10.42.0.0/16および10.43.0.0/16の範囲のIPアドレスとの競合の可能性

NetApp Consoleのローカル展開では、サービス間通信に固定アドレス空間が使用されます。内部ネットワークには、IPアドレス範囲10.42.0.0/16と10.43.0.0/16が使用されます。Console のローカル展開を展開する前に、これらのIPアドレス範囲が、Console のローカル展開で使用可能なVLAN上の他のVM、DHCPスコープ、DNSレコード、またはロードバランサーのVIPプールに割り当てられていないことを確認してください。

エージェントのインターフェースのIPアドレスを変更する方法については、ナレッジベースの記事「Agent IP conflict with existing network」を参照してください。

共有Linuxホストはサポートされていません

このエージェントは、他のアプリケーションと共有されている仮想マシンではサポートされていません。その仮想マシンはエージェントソフトウェア専用にする必要があります。

サードパーティのエージェントと拡張機能

サードパーティ製のエージェントやVM拡張機能は、エージェントVMではサポートされていません。

NetApp Console ローカル展開と NetApp Console の比較



クラウドとオンプレミス環境を管理し、プラットフォームインフラストラクチャを NetApp に任せたい場合は、NetApp Console を選択してください。大規模なオンプレミス ONTAP 環境を管理し、完全なデータ主権とポリシーベースのストレージ管理が必要な場合は、NetApp Console ローカル展開を選択してください。

NetApp Console

NetAppは、NetApp ConsoleをSaaSアプリケーションとしてホストおよびメンテナンスします。登録後すぐにストレージの管理を開始できます。ストレージシステムを管理するには、クラウドまたはオンプレミス環境に軽量のコンソールエージェントをデプロイします。エージェントはNetApp Consoleプラットフォームにアウトバウンド接続し、NetAppがプラットフォームの認証、アップグレード、および可用性を自動的に処理します。

NetApp Console は、制限モード（独自のパブリッククラウドにインストールされ、アウトバウンド接続が制限されている）とプライベートモード（オンプレミスまたはクラウドにインストールされ、エアギャップ環境を含む NetApp Console プラットフォームへの接続がない）もサポートしています。

["NetApp Console の導入モードについて"](#)。

NetApp Consoleは、Amazon FSx for ONTAP、Cloud Volumes ONTAP、Amazon S3、Google Cloud Storage、Eシリーズ、StorageGRID、オンプレミスONTAPクラスターなどのクラウドストレージを含む、幅広いストレージシステムをサポートしています。NetApp Backup and Recovery、NetApp Disaster Recovery、NetApp Ransomware Resilience、NetApp Copy and Sync、NetApp Data Classificationなど、NetAppデータサービスのフルスイートへのアクセスを提供します。NetApp Consoleは、Digital Advisor、ライフサイクルプランニング、サステナビリティダッシュボードなどのサポート契約機能も提供しています。

NetApp Consoleは、ハイブリッドクラウド環境を管理し、最大限の機能、運用維持の手間軽減、そして柔軟なライセンス体系を求める組織に最適です。

["NetApp Console^について説明します。"](#)

NetApp Console ローカル展開

NetApp Console のローカル展開では、NetApp Console のコントロールプレーンをお客様自身のオンプレミスインフラストラクチャ内で完全に実行でき、管理トラフィックが環境外に流出することはありません。仮想アプライアンスイメージを使用してコンソールを仮想マシンとしてデプロイし、vCenter環境内の他の仮想マシンと同様に管理します。コンソールエージェントは不要です。仮想マシンは、お客様の ONTAP クラスターと直接通信します。

NetApp Console のプライベートモードはエアギャップおよびオンプレミスデプロイメントもサポートしていますが、Console ローカルデプロイメントは、エンタープライズ規模の ONTAP フリート管理に特化して設計されています。これは、どの NetApp Console デプロイメントモードでも利用できない機能を追加するものです：

ストレージクラスポリシー

パフォーマンス、容量、階層化の要件をまとめた再利用可能なテンプレートとして、ストレージ標準を一度定義します。すべてのプロビジョニングは承認済みのクラスを使用し、Console のローカル展開はワークロードのコンプライアンスを継続的に監視し、ドリフトを特定します。

フリート管理

ビジネス構造を反映したフォルダとフリートにクラスターを整理し、組織、フォルダ、またはフリートのスコープで管理を委任します。

ワークロードアナライザー

レイテンシ、スループット、1秒あたりの入出力操作数、および構成変更を時系列で関連させることで、ワークロードに影響が出る前にパフォーマンスの問題を特定します。

大規模言語モデル統合

独自の大規模言語モデルに接続することで、自然言語を使用してストレージをプロビジョニングしたり、アラートを調査したり、ストレージ環境に関する状況に応じた回答を取得したりできます。

ガイド付きおよび自動化された修復

ワークロードがストレージクラスから逸脱したり、アラートが発生したりした場合、Console のローカル展開では修正推奨事項が提供されます。ガイド付き手順またはワンクリック自動修復機能を使用して、手動操作なしでコンプライアンスを回復できます。

メールとウェブフックによるアラート配信

保管状況が変化した際に、適切なチームにアラートが届くように、メールとWebhookの通知チャンネルを設定してください。Webhookは、既存の監視ツールやインシデント管理ツールと連携します。

コンソールのローカル展開は、オンプレミス ONTAP クラスターと NetApp Backup and Recovery をサポートしています。Active Directory と連携してフェデレーション認証を実現し、ローカルユーザー向けの多要素認証もサポートしています。

コンソールローカル展開は、ポリシーベースのプロビジョニング、自動コンプライアンスチェック、および完全なデータ主権を必要とする大規模なオンプレミス ONTAP 環境を持つ組織に最適です。

["NetApp Console のローカルデプロイメントについて説明します^。"](#)

機能比較

ストレージ管理

機能	NetApp Console	NetApp Console ローカル展開
オンプレミス ONTAP クラスター	はい（Console エージェントが必要です）	はい（コンソール仮想マシンからの直接通信）
クラウドストレージシステム（Amazon FSx for ONTAP、Cloud Volumes ONTAP、Amazon S3、およびその他）	はい	×
EシリーズとStorageGRID	はい	×
NetApp Backup and Recovery	はい	はい
NetApp Disaster Recovery	はい	×
NetApp ランサムウェア耐性	はい	×
NetApp Copy and Sync	はい	×
NetApp データ分類	はい	×
Digital Advisor、Lifecycle Planning、Sustainability	はい	×
ストレージクラスポリシーとコンプライアンス監視	×	はい
ガイド付きおよび自動化された修復	×	はい
フリート管理（フォルダとフリート）	×	はい

機能	NetApp Console	NetApp Console ローカル展開
ワークロードアナライザー	×	はい
AI支援オペレーションのための大規模言語モデルの統合	×	はい

コンソールの設定とセキュリティ

機能	NetApp Console	NetApp Console ローカル展開
展開モデル	NetAppがホストするSoftware as a Service（さまざまなデプロイモードを利用可能）	自社インフラストラクチャ内でホストされる仮想マシン
コンソールエージェントが必要です	はい	×
ソフトウェアのアップグレード	NetAppによる自動管理	手動
ユーザーインターフェースへのアクセス	NetApp Consoleアプリケーション（インターネットまたは仮想マシンからのアクセス）	コンソール仮想マシン（ローカル、インターネット不要）
データ主権	管理トラフィックはNetApp Consoleプラットフォームに送られます	データや管理トラフィックがお客様の環境から外部に出ることはありません。
Active Directoryとの統合	×	はい
アイデンティティフェデレーション	はい	×
多要素認証（ローカルユーザ）	はい	はい
監査ロギング	はい	はい
ライセンス	マーケットプレイスのサブスクリプションとライセンス持ち込み	ライセンス持ち込み（BYOL）

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。